

令和4年度 狛江市学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

13人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

人口増や新型コロナウイルス感染症等、様々な要因が複合的に重なり学童クラブへの需要が高まり、待機児童が増加している。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

民間活力の活用や既存学童クラブの受入の増強等

(2) 具体策

待機児が多く出ている学区での学童クラブの新設や既存の学童クラブの定員を増加させる。また、保育の必要性が高いと考えられる低学年を優先的に入所させる。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

待機児童が解消され、保護者が安心して児童を預けることができる環境が構築される。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	3,505	3,641	3,762	3,857	3,929
増減	—	136	121	95	72
登録児童数	572	585	664	748	865
増減	—	13	79	84	117
待機児童数	83	86	76	96	13
増減	—	3	▲10	20	▲83

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	4018	4136	4159	
増減	89	118	23	
登録児童数	949	1060	1121	
増減	84	111	61	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	・ 狛江第一小学校放課後クラブの既存支援単位の定員拡充、1支援単位を新設 ・ ベビーシッター一時預かり支援事業の実施	・ 猪方こどもクラブに1支援単位を新設 ・ 和泉小放課後クラブの既存支援単位の定員拡充、1支援単位を新設		
待機児童数	151	61	0	
増減	138	▲90	▲61	▲13